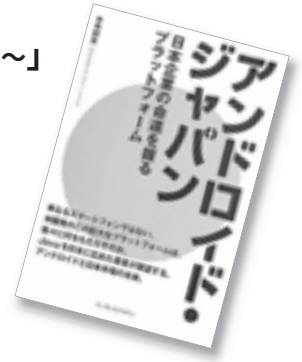
「アンドロイド・ジャパン
～日本企業の命運を握るプラットフォーム～」



著者：木寺 祥友
出版：インプレスジャパン
発行：2011年７月１日

この本はパソコンの黎明期よりＩＴ業界へ足を踏み入れ，Ｊａｖａを日本に広めた著者によるアンドロイドＯＳの話である。

なぜ今アンドロイドが注目されるのか，アンドロイドが開く新世界はどのようなものなのか。

著者は，ガラパゴス化した日本ＩＴ業界への提案としてアンドロイドの積極的な導入を提唱している。システムの柔軟な独自開発が可能で，グローバル，オープン指向性をもつＯＳ，アンドロイドを生かすことで,閉塞感漂う日本企業にも明るい兆しが見えてくるはずだと述べている。携帯電話，タブレットＰＣ，その他目まぐるしく変化していくＩＴ環境変化のなか，モバイル端末機全般にわたる最新動向をはじめ，日本の業界事情も分かることができる本として一読をおすすめする。

大阪商業大学　総合経営学部　経営学科　准教授
起業教育委員会　委員　崔圭皓